

《お墓ってな〜に》



今回、日本人のお墓の意味がよく分かる日本人とお墓シリーズの「お墓ってな〜に」より、抜粋してご紹介致します。

私達は仏壇のお位牌やお墓で先祖供養をしますが、ご先祖様はお位牌とお墓のどちらにいらっしゃるのでしょうか？
えー・・・、どちらにも？
拜んでいる方に？
いや、やっぱり両方かな？・・・

およそ三千年程前から中国社会の霊に関する諸説を集めた『礼記』という本があります。この本には葬儀やお墓のことが沢山書いてあります。日本でも今も行なう一周忌や三回忌もここに出ていますが、この本は千五百年前の飛鳥時代に百濟の五経博士によって日本へ伝えられました。

その『礼記』に『魂氣（こんき）は天に帰り、形魄（けいはく）は地に帰る』とありますが、これは「人が亡くなると、気体のように軽いたましい（魂氣）は浮かんで本来のふるさとの天に帰り、形ある重いたましい（形魄）は本来のふるさと大地へ帰る」

という意味です。

人が「生きている」のは、魂魄（こんぱく）がひとつになって精神（魂）と肉体（魄）が活動している状態、そして「死ぬ」とは魂・魄が二つに分かれて、それぞれ宇宙大自然のふるさとへ帰ることなのです。

私達はここから縁あって生まれ、そして生きて、やがて死んでまたそこへ帰るのです。

日本では位牌は「靈魂」が宿り、お墓は白骨となって「形魄」が帰る大切なところだったのです。

だからお墓は、人が亡くなって「魄」というたましいの宿る白骨を大自然のふるさと「大地」へ帰す大切な役割を果たしているのです。



現在を生きる私達が、供養することの大切さを子孫代々伝え、その供養する心が「家族の絆」に繋がるのではないのでしょうか・・・。

そして、仏壇やお墓で、ご先祖様のご冥福を祈り、ご家族でお参りする事が一番大切なことだと思います。ご紹介した小冊子は、管理事務所に置いてありますので、その他シリーズと合わせて、是非ご拝読下さい。また、お墓の継承等についてお悩みの方は、ご相談下さい。

縦置き香炉と横置き香炉



縦置き香炉



横置き香炉

お墓に備え付けてある香炉には、右写真のような縦置き香炉と横置き香炉があります。

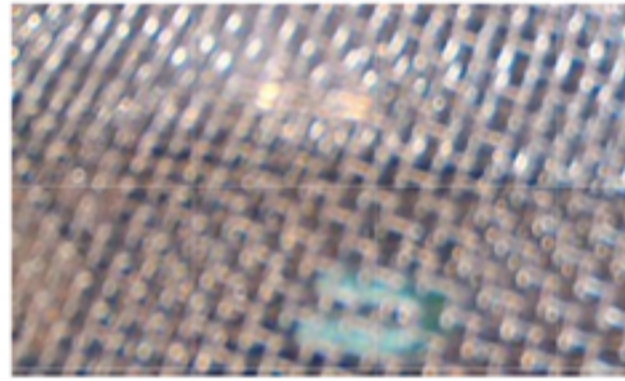
縦置き香炉は、風や香炉内の灰の状態によって倒れやすくなる場合があります。そのような場合、灰の交換や洗浄して繰り返し使えるガラス粒の水晶灰、又、レンコン（参照①）の設置（参照②）をご提案致しております。



①レンコン



②設置例



③メッシュ網

尚、横置き香炉は、お線香が最後まで燃えない場合があります。このような場合、ステンレス製の網（参照③）を香炉の上に乗せてお使いいただく事をご提案致しております。各商品取り扱っておりますので、是非、お問合せ下さい。

☆お墓セミナー 随時開催中
今月開催日（管理事務所二階）
十二月十三日（木）十時〜
次回 一月十日（木）十時〜

年間管理料について

平成24年度の年間管理料を、10月29日（月）にお引落しさせて頂き、誠にありがとうございました。

また、口座振替依頼書の返送が済でない方は、用紙にご記入・ご捺印の上、ご返送の程重ねてお願い申し上げます。

なお、お支払いについてのご相談は、管理事務所までご連絡下さい。

ご利用者様へ

◎年末年始の営業のお知らせ

12月31日（月）まで通常営業
1月1日（火）〜3日（木）休業
1月4日（金）より通常営業

今年一年、奈良山通信をご拝読いただきありがとうございます。

来年も、皆様へ奈良山霊苑での出来事をお伝えしたいと思っておりますので、ご意見やご要望等をお聞かせ下さい。誠心誠意対応いたしますので、宜しくお願い致します。冬場につき、霊苑内の水道が凍結している場合には、ご遠慮なくお声掛け下さいませ。



発行元：奈良山霊苑管理事務所
〒798-1351
愛媛県北宇和郡鬼北町奈良4230-1
電話番号 0895-45-0164
FAX 0895-45-2860
http://narayama-reien.jp
営業時間 9:00~17:00